

【コロナ急拡大の沖縄】全国平均の6倍以上…ひっ迫する医療現場では診療制限も 医師「去年夏のピーク時とほぼ同等」

7/10FNN プライムオンライン

新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行して、約2カ月。

7月7日、後藤新型コロナ対策担当相は、現在の感染状況は「第9波」には入っていないとの認識を示しました。



番組 めざまし8

【コロナ急拡大の沖縄】全国平均の6倍以上…ひっ迫する医療現場では診療制限も 医師「去年夏のピーク時とほぼ同等」

しかし、日本医師会の釜菴常任理事や厚労省アドバイザーボードの脇田隆字座長からは、感染拡大を懸念する声がある。

「めざまし8」は、新型コロナの感染者が急増している沖縄を緊急取材。ひっ迫する医療現場の“危機感”が見えてきました。

全国平均の6倍以上…ひっ迫する沖縄の医療現場

6月26日から7月2日までの1週間で、新型コロナの新規感染者が1医療機関あたり約48人と、全国平均の6倍以上の状態が続いている沖縄。

沖縄県立中部病院の椎木創一医師は、「コロナ患者の数は、去年の夏のピーク時とほぼ同等に達している」と話します。

県内の感染者の推計は1万2260人に上り、6月末の時点で重点医療機関の6カ所で救急診療を制限。5カ所で一般診療を制限する事態となっています。

その余波を受け、ある患者が定期的に通っている耳鼻科では、受診まで3時間以上かかったという声も。

7月に入り本格的な観光シーズンを前に、医師からは不安の声が上がっています。

沖縄県立中部病院 感染症内科 椎木創一医師：

旅行で来られた方が体調が悪いときに、どのくらい対処できるかという懸念があります。拡大するコロナ感染によって、ひっ迫する沖縄の医療現場。今後どうなっていくのでしょうか。

（「めざまし8」7月10日放送）

“現時点では「第9波」に当たらない” 後藤新型コロナ対策相

2023年7月7日 13時24分NHK



新型コロナの感染状況について後藤担当大臣は、患者数が大きく伸びてはいないとして、現時点では感染の「第9波」には当たらないという認識を示しました。

新型コロナの感染状況をめぐり、日本医師会の釜菴常任理事は、5日、沖縄県で感染が急拡大していることなどを踏まえ「第9波」と判断するのが妥当だと指摘しまし

た。

これについて後藤新型コロナ対策担当大臣は閣議のあとの記者会見で「全国的に少しずつ感染が拡大しているが、数字の伸び方はまださほど大きいという認識は持っていない」と述べました。

その上で「政府として今の段階で新しい流行の波が発生しているとは特に認識していない」として、現時点では感染の「第9波」には当たらないという認識を示しました。

一方で沖縄県には職員を派遣するなど、必要な支援を行っているとした上で「今後ともできるかぎり注意しながら基本的な感染対策をとるようお願いしたい」と呼びかけました